

人生100年！ベテラン世代の交通安全

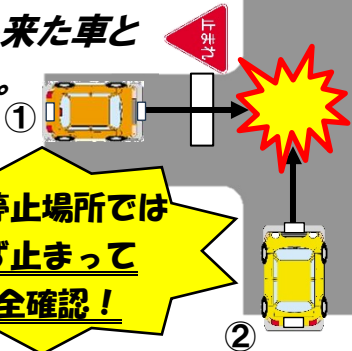
～ドライバー編～

出会い頭事故が多く発生しています！

<交通事故事例>

① 80代(車) × ② 40代(車)

一時停止の標識を見落とし、そのまま交差点に進入、右側から来た車と衝突した。



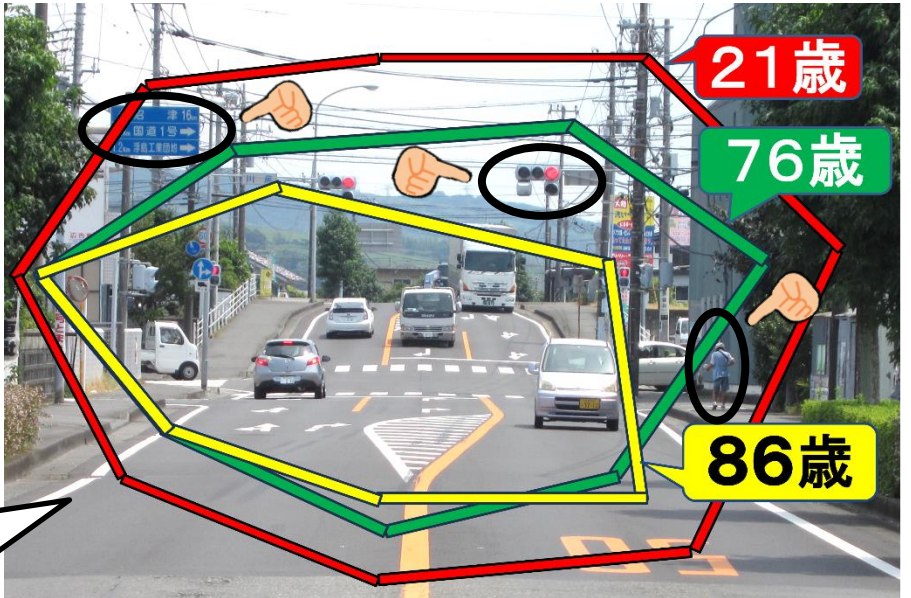
一時停止場所では必ず止まって安全確認！

信号、標識、横断者など…確認しているつもりでも道路上の大切な情報を見落としてしまう可能性があります！



見落とし、ありませんか？

気付かないうちに見える範囲が狭くなっているかも…加齢に伴い、視野も変化していきます。



※表示年齢には個人差があります。

全て見えているとは限らない！必要な情報をしっかりと得るために首を振って、顔ごと向けて視野の真ん中で目標物を捉えるように意識しましょう！



安全運転は心身のゆとりから

急いでいたり、焦っていたりすると、「相手の車との距離を見誤る」「ブレーキとアクセルを踏み間違える」などの判断ミス、操作ミスをしやすくなり、交通事故に繋がります。



◆スピードは控えめ、車間距離を十分に空ける

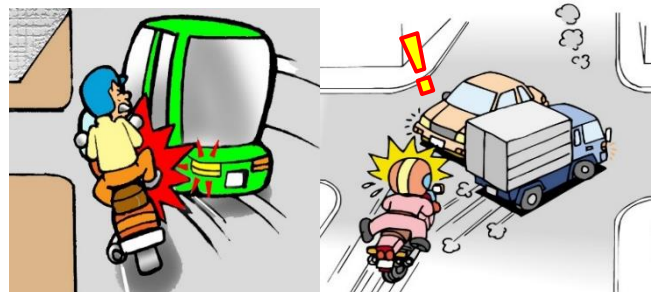
◆時間に余裕を持って外出 ◆体調や天候によっては運転を控える

⚠️ 二輪車に乗る方は…死角に注意！

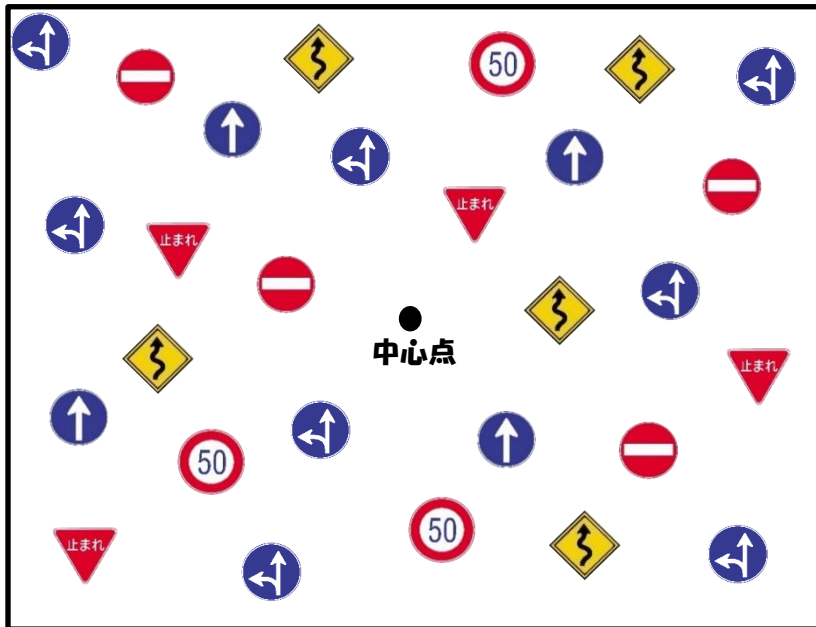
◆車に近付きすぎない

◆車の脇を無理やりすり抜けようとする


「ドライバーからは見えていないかも？」と危険を予測した運転に努めましょう！




注意カトレーニング



<やり方>

①この標識  が何個あるか、中心点●を見つめたまま探してください。 _____ 個

②視線を動かしながら、この標識  をできるだけ早く見つけて○を付けてください。全部で8個あります。

かかった時間 分 秒

一か所だけを見ていると周辺の危険な情報を見落としてしまうかも…

日常生活でも視線を動かし、たくさんの情報を得るようにしましょう!

全席全員がシートベルトを着用しましょう!

シートベルトをしていないと…



二次被害に!!

身体を車内で打ち付ける



前席の人を椅子ごと押してしまう

シートベルトチェック

- ねじれていない
- 肩と骨盤にベルトがかかっている

正しく着用することで

二次被害を防ぎます



シートベルト非着用の致死率は着用者の **約14倍**

◆ちょっとした距離でも◆どの席に座っても◆目的地に着くまで必ず着用しましょう!

夕暮れ～夜間は早めのライトオン!

ライト点灯目安時間

春

3～5月
17:00

夏

6～8月
18:00

秋・冬

9～2月
16:00

日の入りが早くなる秋・冬の時期は、特に事故の増加が予想されます。要注意!

暗い道では
ハイビームの活用を!



ロービーム
約40m
近くだけしか
見えない



ハイビーム
約100m
遠くまで
見えやすい



周りが見えなくなる前に、早めにライトを点灯し、
歩行者・自転車の早期発見に努めましょう!